

こっこめ通信 02 2022

「 蝋 燭 作 り と 冬 鳥 」 号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

八丈植物公園は八丈富士の裾野に位置し、森林の植生はおおむね八丈富士と似ています。しかし一部に三原山側から進出してきたと思われる植物も見られ、ハゼノキが多いのもその特徴の一つです。

そこで今回は解説員が一念発起して挑戦してみた伝統の和蝋燭作りの様子と、今シーズンは出足が遅くて少し心配していた冬鳥達的话题を紹介します。

ハゼノキからロウソクを作ってみた！



島では数少ない落葉樹のハゼノキ。今頃になると、すっかり葉を落とした枝先に、葡萄の様に垂れ下がった実が目立ってきます。

昔はこの実から蝋を取り出し、ロウソクが作られていました。(しかし、八丈島でハゼノキからロウソクを作っていたかどうかは定かではありません。)

そこで、ハゼノキの実を使って、ロウソクを作ってみました。私も初めて挑戦するので、うまくいくかどうか分かりませんが、なんとなくそれらしく出来上がったので、ご紹介します。

石油系ワックスを使ったロウソクよりも、ロウソクの色も炎も優しい感じが仕上がったと思います。

本当は芯も和蝋燭と同じ様に作りたいところでしたが、今回は麻紐に溶けた蝋を染み込ませて使用しました。(M.K.)

＜こんな感じで作りました＞

1



園内で採集したハゼノキの実を1粒1粒手作業でバラバラにしました。(鬼打ち豆みたいですね)

2



少しずつ器に移し、すりこぎでついて種とその他(皮の方)に分けていきます。

3



すりこぎでついて分けた、その他の方を洗濯ネットに入れ、1時間弱ほど蒸していきいます。

4



蒸しあがったものを熱いうちにしぼります。冷めると蝋と水分に分かれるので、蝋をとります。

5



蝋を湯煎で溶かし、溶けたら型に流し入れ、割箸で挟んで固定した芯を中央に立て冷ます。

6



ハゼノキロウソク完成！！冷める時に入ってしまうヒビはライターで炙って補修しました。

※今回は約11.5Lの実から約0.1Lの蝋が取れました。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

今シーズンの冬鳥はこんな感じ

今シーズンの冬鳥は、昨年11月にオオハクチョウが飛来して以来これといったトピックが無く、寂しい気がしていましたが、年末にはシノリガモが二羽飛来し、年が明けるとヒシクイが二羽やってきてくれました。



シノリガモ *Histrionicus histrionicus*

北国の海岸では冬になると普通に見られるようですが、八丈島では2018年以來、久し振りの記録です。



ヒシクイ *Anser fabalis*

今年はイネの二番穂が豊作のようで、食料には困らないでしょう。八丈島では2020年10月以來の記録です。



ウミウ *Phalacrocorax capillatus*

普段はバタバタとせわしく飛ぶウミウ。しかしタイミングによってはこんなにカッコ良い姿が撮れます。

写真で紹介した4種以外に昨年12月以降に八丈島で観察された主な渡り鳥は以下の40種です。

マガン・オオハクチョウ・オシドリ・ヒドリガモ・マガモ・カルガモ・オナガガモ・コガモ・キンクロハジロ・カイツブリ・ミサゴ・トビ・オオタカ・ノスリ・チョウゲンボウ・ハヤブサ・ヒメウ・コサギ・オオバン・ムナグロ・シロチドリ・メダイチドリ・イソシギ・キョウジョシギ・ハマシギ・オオセグロカモメ・ツグミ・ルリビタキ・ジョウビタキ・ノビタキ・サバクヒタキ・エゾビタキ・キセキレイ・ハクセキレイ・タヒバリ・アトリ・カワラヒワ・アカマシコ・カシラダカ・ミヤマホオジロ。

※シロチドリとアカマシコは島での記録はありましたが、八丈ビジターセンターでは初めての記録です。



マヒワ *Carduelis spinosa* マヒワは毎年群れでやってきてくれるお馴染みさんですが、今シーズンは少し出足が遅かったようです。前景のシルエットはマヒワが大好きな実をつけるオオバヤシャブシの葉です。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。今回は1月9日に実施しました。

八丈植物公園季節調査（2022年第1回）参加者：沖山三，茂手木，小林，VC 菊池，今井

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			29	ヒナギキョウ	花と実	シダ植物		
1	アオノクマタケラン	実	30	フウトウカズラ	実	1	イシカグマ	
2	アキノノゲシ	花と実	31	ヘクソカズラ	実	2	ウチワゴケ	
3	アシタバ	実	32	ヘビイチゴ	花	3	オオイタチシダ	
4	イガガヤツリ	実	33	ムラサキカタバミ	花	4	オオタニワタリ	
5	イワニガナ	花	34	メリケンカルカヤ	実が残る	5	オニヤブソテツ	
6	ウスベニニガナ	花と実	木本			6	カニクサ	孢子葉
7	エダウチチヂミザサ	実が残る	1	アオキ	熟した実	7	タチクラマゴケ	紅葉
8	オオアレチノギク	蕾	2	イヌビワ	実	8	タチシノブ	孢子葉
9	オオシマカンズゲ	花	3	オオバヤシャブシ	実と蕾	9	タマシダ	
10	オオバコ	実	4	オオムラサキシキブ	熟した実	10	ナチシケシダ	
11	オニタビラコ	花と実	5	ガクアジサイ	実	11	ノキシノブ	
12	ケナシノジスミレ	花	6	キツタ	若い実	12	ハチジョウカナワラビ	
13	コシロノセンダングサ	花と実	7	シマクサギ	実が残る	13	ハチジョウシダ	
14	コナスビ	花	8	シマモクセイ	若い実	14	ヒトツバ	孢子葉
15	コハコベ	花と実	9	スダジイ	割れた虫こぶ	15	ヘラシダ	
16	シチトウスミレ	花	10	タイミンタチバナ	実が残る	16	ホシダ	
17	シマテンナンショウ	花	11	ツルグミ	花	17	ホラシノブ	
18	ススキ sp.	実	12	テイカカズラ	割れた実	18	マツバラソ	
19	スズメノカタビラ	実	13	トペラ	実が割れる	19	マメツタ	孢子葉
20	センニンソウ	実が残る	14	ハゼノキ	実が残る	20	ミゾシダ	
21	タケダグサ	花	15	ハチジョウイボタ	熟した実	21	ヤマイタチシダ	
22	チヂミザサ	実が残る	16	ハチジョウキブシ	蕾	22	ワラビ	枯れ残り
23	ツルソバ	花と実	17	ヒサカキ	蕾			
24	ツワブキ	花と実	18	ヒメユズリハ	実が残る			
25	テリミノイヌホオズキ	花	19	ホルトノキ	実が残る	今回はシダ植物 22 種を含む 77 種の植物を観察しました。野鳥では珍しくトラツグミの姿が見られ、カラスパトの鳴き声が何度も聞かれました。		
26	トキワハゼ	花	20	マサキ	実			
27	ナキリスゲ	実が残る	21	マンリョウ	熟した実			
28	ハチジョウアザミ	花と実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「イワイタチシダ」にスポットを当ててみたいと思います。



イワイタチシダ *Dryopteris saxifraga*

全国的に広く分布する常緑のシダ植物ですが、専ら深山の湿った岩壁などに生えるので観察するのは簡単ではありません。

八丈島でも八丈富士の火口内へ入れば岩壁から下垂して生えている姿が普通に見られますが、他の地域ではほとんど見かけません。

葉柄に線状の黒い鱗片があり、開出して上方へくるりとカールしているのが分かりやすい特徴です。

本種を含むオシダ属 (*Dryopteris*) は識別の難しいものが多いですが、八丈島ではイワイタチシダに似たものは他にあまりないので助かります。(T.K.)

2022 八丈ビジターセンター 2 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		● 1	2	3	立春 4	5 ガイドウォーク
6 ガイドウォーク	7	☾ 8	9	10	11 ガイドウォーク	12 ガイドウォーク
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	14	15	16	○ 17	18	雨水 19 ガイドウォーク
20 ガイドウォーク	21	22	23 ガイドウォーク	☾ 24	25	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「春探し東里散歩」
27 ガイドウォーク	28					

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
2/13(日) 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため中止となりました
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

八丈学講座 「春探し東里散歩」

毎月行っている八丈学講座。今月は八賀郷東里地区を散歩します。
2/26(土) (13:30～15:00) 中学生以上
八丈プラザ公園駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。2月13日までは中止
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2022.2.1 第249号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

八丈島ではトンガの噴火による津波被害はありませんでしたが、火山噴火による「空振」が津波を引き起こすとは驚きでした。
台風の影響による高潮と似た原理との事ですが、被害を受けた地域の皆様には心からお見舞い申し上げます。(T.K.)